

## ④成人期（概ね31～64歳）

### ◆現状と課題

成人期は、年代も幅広く、家庭や地域、職場等あらゆる面で中心的な役割を担っています。また、家庭人として子どもの健全な育成に責任を果たすことも重要な役割であり、生涯で最も多忙な時期です。学習意欲があっても自由になる時間が少ないなどの理由で、学級、講座等になかなか参加できない人も多く、開設時間や場所の工夫等、参加しやすい学習環境づくりが求められています。

成人期は、仕事や生活に役立つもの、自己の向上を図るもの、現代的課題を解決するもの等、より高度で質的に充実した学習を望んでいます。また、生涯を通じて生きがいのある生活を送られるよう生活設計に関する学習なども必要と考えます。

地域コミュニティの希薄化が懸念される中、団塊の世代など、それぞれの能力を多面的に活かして、地域連帯の輪を広げる牽引役として活躍することが期待されます。個々の学びが、社会参加活動を促し、地域の活性化につなげていくことが重要です。

会員の減少あるいは世代交代が進まないなど、活動が低迷している団体がある一方、行政と協働でまちづくり活動をする団体も組織されており、今後も、自主的な活動をする人材の育成・支援をしていくとともに、社会教育関係団体の育成に力を入れていく必要があります。

重点目標	施策の方向性
1. 学習者のニーズに応える質の高い学習機会の充実を図る。	現代的課題に対応した学習機会や学習に関する情報の提供に努める。
2. 各自の必要性、関心、知的好奇心等に応じた学びやすい環境づくりを推進する。	家庭生活や仕事と両立できる学習機会の提供に努める。 市民が主体となつての学習活動ができるよう支援する。
3. 地域活動、ボランティア活動への参加促進を図る。	ボランティア活動、各自の能力を活かす場づくりの推進に努める。
4. 地域の教育力を高め、地域づくりを担う人材の育成・支援の強化及び社会教育関係団体の育成を図る。	地域の人材の掘り起こし、リーダーの育成、地域活動への支援に努める。 社会貢献活動など学習後の実践につながる学習機会の提供に努める。